

或夜頼光公の御殿種々の
怪異ありしなり夫熱せし
四天王の面々宿直
袴岳保輔



異形の僧公を
つとめぬけ飛
ありさる頼光公
の身におし
切丸を引抜切付
云々消て見
りぬ此の音小保昌を
ぬ四天王の面々走あつあり
あつり小血者やのある故備
怪物此方へ逃れたと見
るは在野にさるる退治

平井保昌

これんと五人の英雄跡を
行々々々比のさる本社のある
其森の中へ大なる穴の内へ
住ける上敷中を七尺有余のあら
んと見ゆる怪物をて通力自在な
れへ人力の及ぶ死所
不あらはと人とも五人の
勇士等しげれも尋常の
人物あらねば手剛き怪
物と退治ありしなりこれより館の
怪異もあつたり又頼光公の御
病氣も平愈るしなり
親玉将門の子相馬太郎良門
父将門滅亡のとき姉滝夜叉姫と
戦場でのたれ成長ふかまびさく

